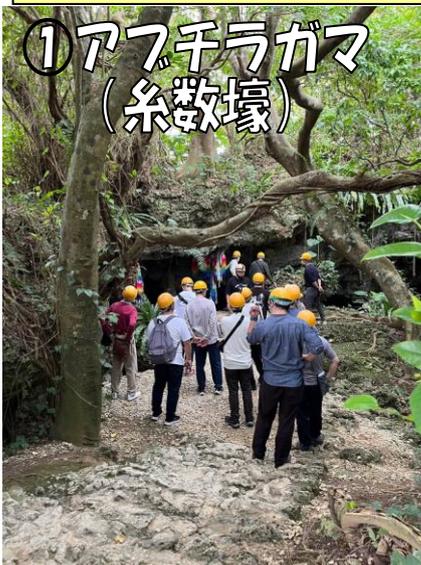




## 沖縄平和研修開催 パート1

2023年1月22日～24日で沖縄平和研修を開催しました。大きくは、1日目「過去の沖縄」、2日目「現在の沖縄」、そして3日目「総括会議」において参加者全員で感じたことを出し合いました。各地域、各職場で平和の大切さと資本家・権力の本質を伝え広める運動を実践すること、組織強化・拡大に向けて参加者全員で諦めず、騙されずたたかい抜くことを確認しました。

この号では1日目「過去の沖縄」について報告します。



①アブチラガマ (糸数壕)



②ひめゆりの塔



③魂魄の塔



- ① アブチラガマ (糸数壕) は、自然壕として住民が避難していたが、後に米軍に追い込まれた日本軍が野戦病院として使用。住民を犠牲にした軍隊の本質を学びました。
- ② ひめゆりの塔では、当時のひめゆり学徒隊の激務 (兵士の治療看護、飯上げ、糞尿の始末、死体処理など) を映像や証言から追体験しました。最後は軍の「解散命令」により途方に暮れ、多くの級友たちが自決を選択したことは戦争がいかに人間性を喪失させるものなのかを改めて思い知らされました。
- ③ 魂魄の塔は、住民の意思で最も早く作られた慰霊塔です。激戦地であり、住民・日本軍・米軍・韓国朝鮮人など問わず2万5千～3万5千の遺骨が収集されています。戦争は敵味方問わず、多くの人民の尊い命が失われる悲惨なものと痛感しました。
- ④ 荒崎海岸は、ひめゆり学徒隊他、救助の宛もなく路頭に迷った多くの住民が米軍に追い込まれた場所です。日本軍の誤った指導により、米軍に捕られるよりは自決の道を選択し、海に身を投げざるを得なかった気持ちを考えると、本当に胸が締め付けられる思いです。



④荒崎海岸

過去の沖縄から学んだ戦争の本質はすべての犠牲が住民・労働者にあることだ!  
だから二度と再び戦禍は起こさせない! 平和な世の中を実践的に創り出そう!



## 沖縄平和研修開催 **パート2**

この号では研修2日目「現在の沖縄」を中心に報告します。  
 辺野古基地建設反対を訴え、キャンプシュワブゲート前での座り込み行動をする仲間との連帯行動や現地でのたたかい、状況を聞きました。  
 また嘉数高台から普天間飛行場を見渡し、かつて住民から奪い取った広大な敷地を見て軍隊の本質を学びました。さらにオスプレイやヘリコプターなどの騒音を体感し、改めて基地がもたらす住民への被害の現実を目の当たりにしました。嘉手納基地も同様にそこに住む住民が現在も騒音被害を受けています。  
 私たち労働者の立場から基地はいらない、総括会議ではその意思を明確にし、各職場で、各地域で運動を展開することを確認しました。



↑ 辺野古基地建設反対の声を上げる。



↑ ↑ 現地のテント村での長期のたたかいの現実や苦闘を聞く



↓ 金網の向こうは辺野古基地建設現場



↓ 嘉数高台から普天間飛行場を見渡す



↓ 嘉手納基地でヘリ・飛行機の騒音を体感



**軍隊は住民を守らない。**

**私たちは騙されない!**

**私たちが学んだ本質だ!**

沖縄では戦後、多くの住民が日常生活の中で様々な被害を受けています。米軍兵士による暴行事件やヘリ墜落事故などです。しかし日米地位協定により、日本の警察は事件・事故の調査すらできません。基地に逃げ込まれて終わりです。その基地や米軍兵士の生活費用を「思いやり予算」という形で私たちの税金が使われています。許せますか？知らないということは騙されます。真実を知り、声を上げよう！